

JR烏山線の鉄道唱歌を利用した地域活性化に向けた取り組み
 ～『烏寶線鉄道唱歌』発掘から『現代版鉄道唱歌』作製までを踏まえて～

JR烏山線沿線の地域資源回遊マップの作製①
 ～市民ワークショップとフットパスの企画・企画～

『烏寶線鉄道唱歌』の活用を見据え、地域資源の抽出を主たる目的に市民ワークショップを3回開催した。第1回では、『烏寶線鉄道唱歌』の歌詞の解説・吟味をとおして、制作された1930（昭和5）年当時の地域資源および地域様相について確認した。第2回では、現代の地域資源の抽出を行い、回収した付箋紙112枚に記された固有名詞151件を基に、「地域資源活用促進法（中小企業庁。平成19.5.11施行／平成27.7.15改正）」の考え方および現代に即した建造物の分類の見直しを加え、現代の地域資源を抽出した。その結果、昭和5年：33件、現代：98件の合計131件をJR烏山線沿線の地域資源として抽出した。これらの地域資源は、昭和5年および現代という時代を隔て市民が共有する“地域の魅力”“地域の誇り”である。

次に、活用手法として、地域資源を巡るフットパスを企画した。フットパスとは、イギリス発祥の“地域の散策を目的とした歩く小径”のことであり、“JR烏山線沿線の地域資源の活用による地域交流”の具体化として企画した。旧烏山町エリアを中心に3つのフットパスコースを設定し、参加者には、①地域資源までの時間・距離、②訪ねた地域資源の感想&紹介文、③地域資源のイラスト・スケッチの応募をお願いした。このようにして開催したフットパスには、延べ106名が参加した。

■研究の背景、目的、構成■

研究の背景

現在、わが国では、少子高齢化の進行と大都市圏への人口集中の恒常化が大きな課題！

《地方中小都市》
人口流出に伴う財政基盤の弱体化

文化や伝統など地域の維持が困難な状況が顕在化

《那須烏山市》
栃木県の北東部に位置する那須烏山市も同様の問題を抱えた地方都市

その問題への対応が急務！

研究の目的

JR烏山線沿線地域の地域活性化に向けた手法検討

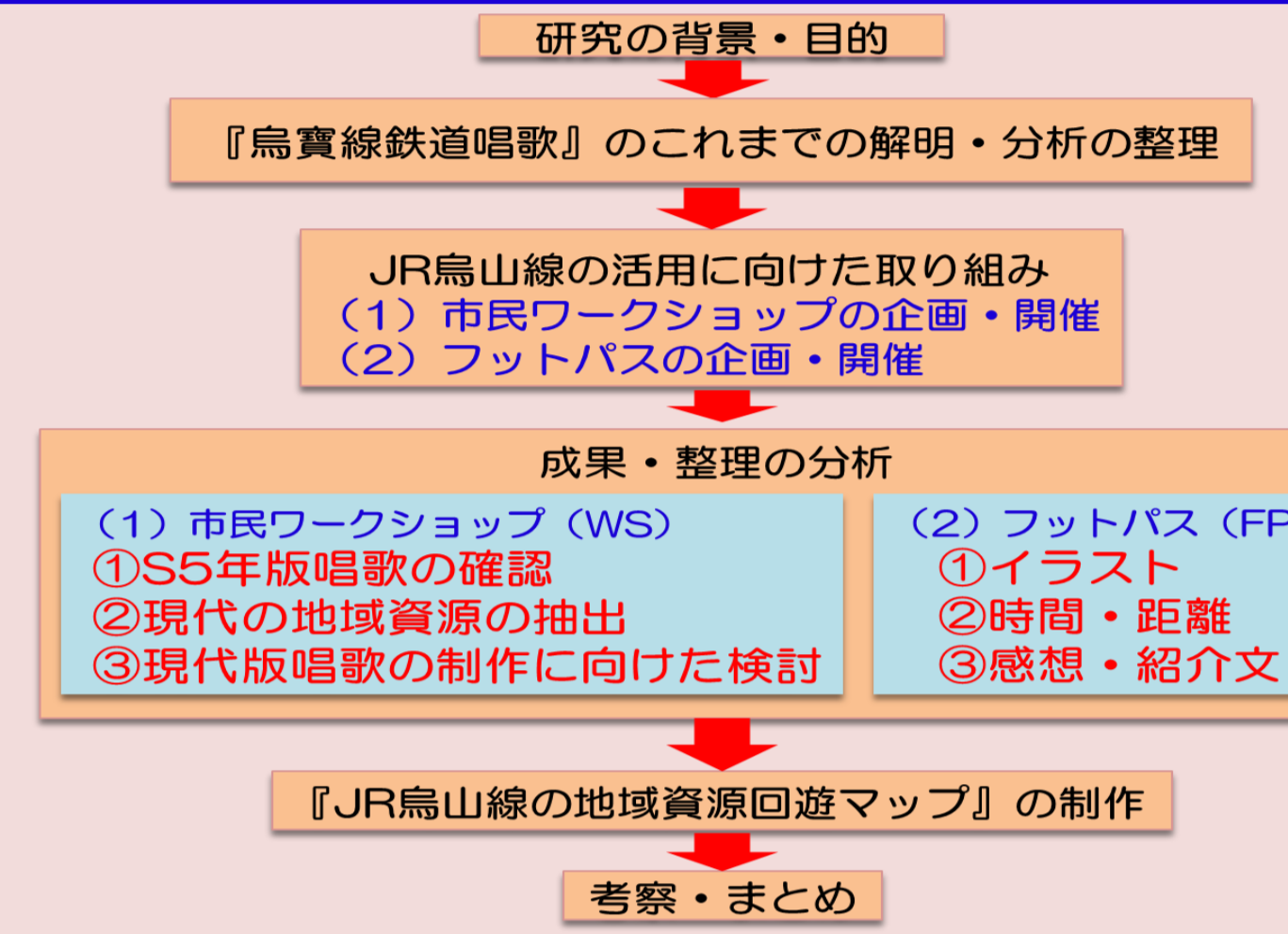
本稿では

『烏寶線鉄道唱歌』に拘わるこれまでの研究成果を踏まえ、JR烏山線を活用した地域交流機会の拡大に向けた検討を行うことを目的とする。

具体的には・・・

- ①市民ワークショップおよびフットパス企画の試行
- ②各々の成果を整理・分析する中で、地域交流機会の拡大に向けたプランニングの方向性とその効果について検討する

研究の構成



■ワークショップの企画・開催■

JR烏山線の活用に向けた取り組み

市民ワークショップの企画・開催

(1) JR烏山線を活用した地域交流機会拡大の方向性の検討を目的として、3回企画・開催した。

第1回：市民に向けた『烏寶線鉄道唱歌』の周知と浸透
 成果：①33の地域資源の確認と確定
 ②唱歌に謳われていない地域資源の有無の確認を行ったが取り上げた地域資源以外の提示は無かった。

《第1回市民WS参加者》

分類	市内		市外	
	男性	女性	男性	女性
一般	16	1	1	0
大学生	0	0	3	0
高校生	1	0	0	0
コーディネーター	0	0	1	0
事務局	2	1	0	0
計	26			



(那須烏山市役所第4会議室：6月24日)

JR烏山線の活用に向けた取り組み

市民ワークショップの企画・開催

現代の地域資源の抽出

第2回：現代の地域資源の抽出

- ①現代の烏山線沿線地域の地域資源の抽出
 - ②「これこそ烏山の地域資源！」と思われるものの提案
 - ③上記①②で挙げられた地域資源にまつわるエピソードの収集
- 成果：付箋紙112枚を回収し、固有名詞151件を抽出。「地域資源活用促進法」の考え方を加味し、地域資源として99を抽出。

《第2回市民WS参加者数》

分類	市内		市外	
	男性	女性	男性	女性
一般	17	1	2	0
大学生	0	0	2	0
高校生	3	2	0	0
コーディネーター	0	0	1	0
事務局	2	1	0	0
計	31			



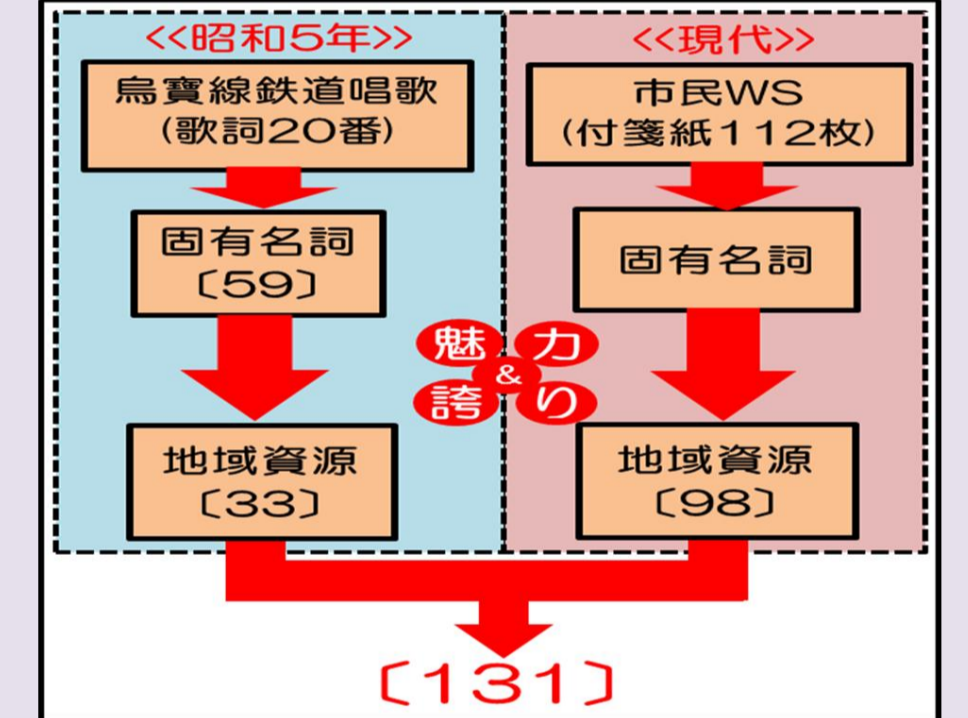
(那須烏山市役所第4会議室：7月9日)

■ワークショップの成果■

JR烏山線の活用に向けた取り組み

市民ワークショップの企画・開催

昭和5年および現代の地域資源の抽出過程と件数



上記の過程を経て、時代を隔てた地域資源として昭和5年は33件、現代は98件の計131件を抽出・確定した！

■フットパスの企画・開催■

JR烏山線の活用に向けた取り組み

フットパスの企画・開催

今回のFPの与条件
 ①1区間以上乗車
 ②駅を起点として回遊

3駅22件の地域資源を選定

凡例
 ①第1回フットパス回遊資源
 ②第2回フットパス回遊資源
 ③第3回フットパス回遊資源

回	資源名	件数
第1回	木村のかきもち烏山店	1
	龍門の滝	1
	太平寺	1
	烏山通運礮石造り倉庫群	1
	山あけ会館	1
	八雲神社	1
	烏山歴史資料館	1
	春雷山神社	1
	烏山城跡	1
	烏山学館	1
第2回	家康寺	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
第3回	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1
	龍門の滝	1

JR烏山線の活用に向けた取り組み

フットパスの企画・開催 (第1回：8月27日)

鳥山防空監視哨
 鳥山通運礮石造り倉庫群

泉溪寺
 壽龜山神社

木村のかきもち烏山店
 龍門の滝

JR烏山線の活用に向けた取り組み

フットパスの企画・開催 (第2回：9月12日)

泉溪寺
 壽龜山神社

木村のかきもち烏山店
 龍門の滝

■フットパスの成果■

成果の分析・分析整理

フットパスの成果

①参加者数

分類	第1回 (8月27日)		第2回 (9月12日)		第3回 (9月26日)	
	市内	市外	市内	市外	市内	市外
一般	4	4	1	0	4	1
大学生	0	0	5	0	3	0
高校生	0	0	0	0	3	5
小学生	21	15	0	0	0	0
コーディネーター	0	0	1	0	0	1
事務局	1	1	0	0	1	1
計	53		25		28	

市内	市外	男性	女性
71人 (67%)	35人 (33%)	60人 (57%)	46人 (43%)

参加者は3回、計106人!!

成果の分析・分析整理

フットパスの成果

②時間・距離の測定件数

回	地域資源名	時間(件数)	距離(件数)	
第1回	①木村のかきもち烏山店	0	15	
	②龍門の滝	0	10	
	③太平寺	0	14	
	④烏山通運礮石造り倉庫群	0	17	
	⑤山あけ会館	0	17	
	⑥八雲神社	0	0	
	⑦烏山防空監視哨	0	0	
計	0	73		
第2回	①壽龜山神社	7	7	
	②烏山城跡	4	4	
	③烏山学館	7	7	
	④泉溪寺	7	7	
	⑤飛川橋梁	7	7	
	⑥旧森田発電所	7	7	
	⑦江川橋梁	7	7	
	計	39	39	
	第3回	①烏山和風会館	5	5
		②家康八幡宮	5	5
③龍門の滝		5	5	
④山あけ大橋		5	5	
⑤鳥山学館		5	5	
⑥鳥山学館		5	5	
⑦鳥山学館		5	5	
⑧鳥山学館		5	5	
⑨鳥山学館		5	5	
⑩鳥山学館		5	5	
計	47	47		

合計 245件

成果の分析・分析整理

フットパスの成果

③感想・紹介文 回答件数

合計 476件

回	地域資源名	感想(件数)	紹介文(件数)
第1回 (グループA)	①木村のかきもち	23	23
	②龍門の滝	23	23
	③太平寺	22	22
	④烏山通運礮石造り倉庫群	23	23
	⑤山あけ会館	23	23
	⑥八雲神社	23	23
計	114	114	
第1回 (グループB)	①烏山通運礮石造り倉庫群	6	0
	②山あけ会館	6	0
	③八雲神社	6	0
	④烏山防空監視哨	6	0
	⑤木村のかきもち	7	1
	⑥龍門の滝	6	1
計	37	2	
第2回	①壽龜山神社	9	8
	②烏山城跡	5	4
	③烏山学館	9	8
	④泉溪寺	9	8
	⑤飛川橋梁	9	8
	⑥旧森田発電所	9	8
計	50	44	
第3回	①烏山和風会館	7	6
	②家康八幡宮	7	6
	③龍門の滝	6	6
	④山あけ大橋	8	6
	⑤鳥山学館	7	5
	⑥鳥山学館	7	5
計	63	52	



これらの取り組みを踏まえて『地域資源回遊マップ』を作成しました!